様式-1-2

受付番号：22-a17

疫学研究・臨床研究に関する情報の公開について

研究課題名

本邦心大血管リハビリテーションの問題点の抽出と対策の検討

研究計画

(1)背景・意義

急性心筋梗塞の早期再灌流療法の有効性エビデンスは確立し、本邦でも普及している。心大血管リハビリテーション(以下心リハ)は急性心筋梗塞患者の予後を改善するとされているが再灌流療法の進歩に伴い入院期間は大幅に短縮している。今回、大規模 DPC(包括医療支払制度)データと心リハ学会研究グループによる予後を含む調査データを合わせることにより、心リハの量や質による急性心筋梗塞患者の予後改善効果を確認するとともに、保険診療における妥当性などに関する問題点を抽出し検証することは、患者の予後改善にも医療費削減にも寄与しうるものと考えられる。

(3) 目的

大規模な DPC(包括医療支払制度)データと別途実施する心リハ学会研究グループによる予後を含む調査データを合わせることにより、心リハの量や質による急性心筋梗塞の予後改善効果を確認すること

(4) 方法

2014年1年間に循環器疾患診療実態調査(JROAD)で収集された急性心筋梗塞患者(薬5000例)を抽出し、入院時の心臓リハビリテーションの量や質による複合心血管イベントと医療費の関係急性期早期の心リハ実施の有無と予後及び医療費の関連性などについて評価する。

個人情報の取り扱い

本研究の目的を達成するために必要な範囲を超えて診療録からの個人情報を取り扱いません。また、得られた情報は個人が特定されないように匿名化した上で、細心の注意を払い安全に管理します。
なお、本研究により得られる研究結果は個人が特定されることはない形でまとめます。

連絡先

循環器科　副部長　　寺井　知子